

芽室MaaS事業 Version UP「めむろコミ☆タク」

昨年度実施した「みんなのコミ☆タク」共生・支援型 芽室MaaS事業で得た知見を活かし、地域の特性（過疎農山村地域・高齢化・希薄な公共交通・クレジットカード保有率の低さ・タクシー事業者の収益悪化）を考慮し、産学官の連携を図りながら都会とは違うMaaSで事業のVersion UPを図っていく。さらには昨年度把握できた移動の目的（通院・買い物・食事等）に加え、①市街地で開催される介護予防・認知症予防等の活動、②娯楽などを移動の目的化させていくことで移動機会を創出し、健康で活気ある町づくりに取り組む。

協議会の 構成員	【幹事】芽室町、芽室町公共交通活性化協議会、北海道経済連合会、芽室みなくる商店会、NPO法人上美生、こばとハイヤー株式会社、十勝バス株式会社、株式会社TKコミュニケーションズ、小樽商科大学、北翔大学、（相談中）コープさっぽろ、NPO法人ソーシャルビジネス推進センター、株式会社ノースター、電腦交通株式会社、NEVELL株式会社、株式会社CHIENOTECH		取り組みイメージ	
地域 課題	- 農村地区の過疎、高齢化 - 域内学生(高校生)の通学 - 希薄な公共交通(路線バス、鉄道)とこれによる買物難民化 - タクシー乗務員の成り手、担い手不足 - 高齢者の健康維持増進やデジタルデバйд解消			
事業 概要	サービス 開始時期	2022年10月～2023年2月	評価指標	
	エリア	芽室町上美生地区	- 利用者の属性・頻度などの集計・分析 - 乗降場所ログによる集計・分析 - 家庭でのタブレット使用状況 - 買物支援策需要と生活必要商材の検証 - 外出頻度の向上に向けた施策の検討資料の蓄積	
	MaaS システム	WEBと電話によるデマンド予約、及び高齢者でも簡単に操作できる予約タブレットをあらたに開発、利用者の家庭に配置する		
	交通 サービス	- 乗合型オンデマンド交通の運行 - 上記予約・機能の提供（高齢者向けに電話によるオペレーションコールセンターを構築） - 口座引落し型の運賃形態でのサービス提供		
事業 目的	交通以外の サービス	- 商業施設との連携による、買物支援サービスの提供 - 口座引落しによるキャッシュレス化 - 病院診察時間に応じた簡単操作の予約変更	今後の方向性	
	- 公共交通の希薄な過疎農山村地域にあった、デマンド交通を実装することにより、住民の移動・買物手段を確保する。 - 口座引落しによるキャッシュレスの進め方を探る。 - 自家用有償運送と流しのタクシーのリソース相互補完の在り方を探る。 - 予約タブレットを無償配布することでのデジタルデバйдの解消		- 今事業では対象となるエリアを上美生地区に限定し、サービスを磨き上げた上で、町内他地域への水平展開を図る。 - タクシー乗務員の担い手不足は深刻な課題であり、タクシー事業者と、自家用有償旅客運送のコラボレーションによる相互補完可能な運行を目指す。 - 地域住民の健康維持・増進を図るための、地域医療機関やヘルスケアプログラム等とデマンドサービスの連携を進めていきたい。	